

今週（10月3日から10月7日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今積み期間は、9月末日が週末となった事や、最終日の14日は一部が新積み期間に跨る事もあり、やや調整し辛い日程となっている。前述の影響もあり、今週はレート水準が上昇しやすい展開となった。無担保コールO/N物は、引き続き邦銀業態からの調達を中心となるなか、加重平均レートは、3日の▲0.065%から5日の▲0.052%までは小幅な上昇に留まったが、6日には▲0.039%まで上昇した。7日は、3連休前の4日積みとなった事で一段と上昇しての取引となった。

ターム物は、ショートターム物を中心に▲0.07~▲0.04%近辺での引き合いが散見された。

日銀当座預金残高は、週初492兆円で始まり、その後は税揚げや年金保険料の揚げ等の影響により486兆円~488兆円程度での推移となった。

●レポ市場

今週のGCO/N物は、概ね▲0.13~▲0.07%程度のレンジで推移した。週前半は▲0.13~▲0.10%近辺での取引が中心となったが、週後半にかけて緩やかに上昇する展開となり、7日は▲0.10%を上回った水準での取引が中心となった。

SCは、カレント銘柄近辺やチーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、6日に実施された6M物(1112回)の入札は、無難な結果となったものの、その後のセカンダリーマーケットでは、売り優勢となった。7日に実施された3M物(1113回)の入札は、発行額が増額された事や償還日が一部海外の祝日と重なった事もあり、弱めの結果となったものの、その後のセカンダリーマーケットでは底堅く推移した。

6Mゾーンに関しては、入札結果を受けて軟調な展開となるなか、3Mと1Yゾーンは、一定の買いニーズが見られた事で、堅調な推移となった。

また、4日に実施された短国買入オペは、前回と同額の1,000億円でオファーされ、平均利回り較差+0.004%、全取利回り較差+0.003%とやや弱めの結果となった。

●CP市場

今週は、四半期末明けによる発行再開の動きが多く見られた。小売・鉄鋼・卸売・建設等、複数の業態から大型発行が行われた事で、週間の発行残高は金額ベースで、大幅な発行超となった。市場残高は、9月末に23兆円台まで低下したものの、足許では25兆円台まで右肩上がり回復してきている。

発行レートについては、日銀の適格担保銘柄では概ね浅いマイナスから小幅なプラス圏での決着となっている。

●短期金融市場関連指標

	日経平均(円)	新発10年物 国債利回り(%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
10/3(月)	26,215.79	0.240	144.85	△ 0.065	△ 0.100	4,920,700
10/4(火)	26,992.21	0.245	144.70	△ 0.059	△ 0.116	4,879,800
10/5(水)	27,120.53	0.245	143.93	△ 0.052	△ 0.129	4,850,200
10/6(木)	27,311.30	0.245	144.58	△ 0.039	△ 0.113	4,859,500
10/7(金)	27,116.11	0.245	145.02	△ 0.021	△ 0.087	4,854,600

来週（10月11日から10月14日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
10/10 (月)	スポーツの日				米国祝日(Columbus Day)
10/11 (火)	8月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 9月の景気ウォッチャー調査(内閣府 14:00)				
10/12 (水)	8月の機械受注統計(内閣府 8:50)	30Y 9,000億円 10/13発行	交付税借入 13,000億円 10/24借入		9月の米生産者物価指数
10/13 (木)	9月の企業物価指数(日銀 8:50)				9月の米消費者物価指数 9月の米財政収支
10/14 (金)	9月のマネーストック(日銀 8:50)	TB3M 60,000億円 10/17発行	5Y 25,000億円 10/17発行		9月の米小売売上高 8月の米企業在庫 10月のミシガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
10/10 (月)	スポーツの日								
10/11 (火)	600	▲ 11,800	▲ 11,200	国債補完 CP買入 社債買入	15,000 ▲ 200 ▲ 100		14,700	3,500	TB3M発行▲60,000 償還55,600 TB6M発行▲40,000 償還29,800 交付税借入▲13,000 期日13,000
10/12 (水)	▲ 1,000	2,000	1,000	全店共通	▲ 11,300		▲ 11,300	▲ 10,300	
10/13 (木)	▲ 500	▲ 10,000	▲ 10,500				0	▲ 10,500	源泉税揚げ 社会保障費の払い 30Y発行▲9,000
10/14 (金)	▲ 500	86,000	85,500				0	85,500	年金定時払い 交付税借入▲13,000 期日13,000
週間合計	▲ 1,400	66,200	64,800	—	3,400	0	3,400	68,200	

10/11は日銀予想、10/12以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、積み最終週となる事から、13日までは今週と同様に各業態から調整の資金調達が見込まれる。14日は、新積み期間に跨る取引となる事から、やや低下する可能性も考えられる。債券レポGC O/N物は、▲0.10～▲0.07%程度での推移を予想する。短国市場は、14日に3M物の入札実施が予定されている。また、12日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、12日にCP等買入オペが4,000億円が予定されている。主要なイベントは、国内では、12日に8月の機械受注統計、13日に9月の企業物価指数、海外では、13日に9月の米消費者物価指数、14日に9月の米小売売上高などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよく読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入